

ellipse

[エリプス]

TOPICS

特別寄稿

「装い」がコミュニケーションに及ぼす影響 ～「#KuToo」を事例に

内藤 章江 氏

(お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所)

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

◆事業報告

〈共催講演会〉お茶の水地理学会講演会

「最近の自然災害の動向と地理学における災害への取り組み」(講師:熊木 洋太 氏)

〈助成金事業〉全国歴史教育研究協議会

60周年記念誌作成・記念講演

INFORMATION

本を紹介

『Q&A シリーズ

生活習慣病 成人期』



特定非営利活動法人

お茶の水学術事業会

特別寄稿

「# KuToo」をご存じでしょうか？

“私はいつか女性が仕事でヒールやパンプスを履かなきゃいけない風習をなくしたいと思ってるの” — 昨年、1 件のツイートが多くの人々の共感を得て一大ムーブメントが起こり、国会やマスメディアでも取り上げられました。2019 年 8 月 25 日付「朝日新聞」に掲載された、内藤章江先生（お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所）へのインタビュー記事「足元 印象に残りにくいのに」もその一つです。

被服心理学をご専門とする内藤先生に、装いとコミュニケーションという観点から、改めて「# KuToo」について解説していただきました。

「装い」がコミュニケーションに及ぼす影響～「#KuToo」を事例に

内藤 章江（お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）

皆さんはどのようにして自分が身に付けるものを選びますか？ たまたま目に入ったものを手に取ることもあると思いますが、自分の好きな色やデザインを選ぶ、その日の気分で選ぶ、気候に合わせたものを選ぶ、これから出かける場所にふさわしいと思われるものを選ぶ、これから会う人にどのように思われるかを考えて選ぶ・・・など、「自分が身に付けるもの」を選ぶ際には様々なことを考えます。

「身に付けるもの」としては「服」を思い浮かべる人が多いと思いますが、この「服」には色々な表現方法があります。「被服」は「身体の外見を変えるために用いるすべてのもの」を指し、身体各部を覆い包むものから被り物、履物、髪型、化粧、アクセサリー、タトゥなども含まれます。私たちが一般的に「服」と表現するものは「衣服」と呼び、「被服」の中でも身体の主要部分を覆い装飾するものを指します。そして「被服」や「衣服」は人が身にまとうと「服装」と呼ばれます。

この「被服」や「衣服」は様々なメッセージを発しており、さらに人が着装した「服装」ではメッセージが多様化し、複雑化します。そのメッセージは、「見る人」に様々な感情を抱かせ、その反応や評価が「装う人」に返ってきます。このやり取りは、被服や衣服、服装を介して行われる「見る人」と「装う人」との「コミュニケーション」と呼ぶことができ、「言葉を発しないコミュニケーション（非言語的コミュニケーション、ノンバーバルコミュニケーション）」と言われていきます。コミュニケーションとは「意思や感情、思考を伝達し合うこと」であり、コミュニケーションが取れている状態とは、「意思疎通ができていて、心が通い合っている」状態といえます。

装いがコミュニケーションにどのような影響を及ぼすのか、さらには装いによるコミュニケーションが取れていない場合にどのようなことが起こるのか、近年話題となり社会問題となった「#KuToo」を取り上げて考えてみたいと思います。

2019 年 6 月、女性にハイヒールやパンプスを職場で履くことを指示・強要することが性差別やハラスメントにあた

内藤 章江 (NAITO AKIE)

お茶の水女子大学
グローバルリーダーシップ研究所 特任講師



2003 年椋山女学園大学生生活科学部助手、2008 年お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター特任助教を経て 2014 年より現職。専門は被服心理学、被服意匠・色彩学。博士（学術）。衣服・着用者・着用場面の相互関係が着用者自身や周囲に与える心理的・生理的影響に関する研究、「服育」に応用可能な教育ツールの開発に取り組む。研究所では女性リーダー育成にかかわる教育・研究に携わり、リーダーシップ養成科目の一つである「パーソナル・ブランディング」の授業を担当。専門知識や研究成果をリーダー育成に活用している。

るとして、約 1 万 9000 通の署名が厚生労働省に提出されました。この活動は、セクハラ被害撲滅を訴える「# MeToo」に「靴」と「苦痛」をなぞらえ「# KuToo（クーツー）」と呼ばれています。「#KuToo」はなぜ話題となり、多くの人々から賛同を得たのでしょうか。

ハイヒールやパンプスは、スポーツシューズ（ランニングシューズ、ウォーキングシューズ）やスニーカーなどと比較して「歩きにくく疲れやすい」、「つま先が痛い」、「足全体が圧迫される」、「かかとがずれる（靴ずれが起きる）」などの苦痛を訴える人が多いといわれており、それらによる足指の損傷や変形、体調不良、精神的苦痛など「健康被害」が起きやすいといわれています。しかしこれらは「サイズの合う靴を履く」、「足の形状に合う靴を履く」、「履く時間（履き続ける時間）を調整する」、「靴自体に工夫を施す」、「歩き方を工夫する」などにより未然に防ぐことができ、大部分の苦痛は解消されるでしょう。

それではなぜ社会問題として話題に上るのでしょうか。それはハイヒールやパンプスの着用を「女性だけに強いられるルール」としているからと考えられます。美しさや女性らしさを特に重んじる職場では、女性の装いに「女性性（女性ら

しざ) を表現・強調することが「期待」され、さらにその装いによって周囲とコミュニケーションをはかることを「期待」すること¹⁾があります。「女性性を強調する装い」とは、一般的に「女性が身に着けるものとして認識されているアイテム」、「女性を連想させる色や形をしたアイテム」、「女性だけが持つ身体の特徴や曲線美を強調するアイテム」などを「身に付けた状態」を指します。「ハイヒール」というアイテムは、アーチ状の鞋底と華奢なヒール部分で構成されており、見る人に女性が持つ曲線美と線の細さをイメージさせます。このような「女性性」を表現・強調するアイテムを身に着けた「女性」を「とある職場」において目にする機会が増えるほど、人々に「このような職業に従事する女性はこのような装いをする」というラベリングや刷り込みがなされ、その職業に従事する女性たちに「女性性を表現・強調する装いをする」とへの期待」となって返ってくるのです。つまり、「女性だけに強いられるルール」は人々の「期待」が作り出していると考えられます。この期待にそうように、「職務・業務上のルール」が作られ、「指示・強要」が行われ、女性にハイヒールやパンプスを履くことが求められるのです。

「職務・業務上のルール」として存在する以上、疑問を持たずにその「期待」にそった行動をとる女性は多いと考えられますが、その仕事において「女性性」を強調する装いが本当に必要であるのか疑問を持つ人が現れ、さらに「#KuToo」として声を上げる人が現れたことで次々に声が表面化し、賛同者が増加したと考えられます。これまでも同じような疑問を持つ人は一定数存在していたと考えられますが、なぜ「#KuToo」賛同者が増加する前に表面化しなかったのでしょうか。これは、「みんなと同じ意見」から外れると「非難」される風潮があること、また「女性は女性らしい服装が相応しい」とされる「性役割意識」が我が国においてはいまだに根強いからと考えられます。実際に、女性だけがハイヒールやパンプスを履くことを指示・強要されることに疑義を持ち、勇気をもって発言した「#KuToo」提唱者の女性は賛同者を多数得た一方で、一部の人から強く非難されるといった事態もみられました。

ここで、ハイヒールやパンプスは本当に女性性を強調する装いとして効果を発しているのか、という疑問が生じます。私はこれまでに視線の動きを可視化する装置を用いて「人はどこを見て印象を形成するのか」という研究²⁾を進めてきました。これまでにやってきた研究の中で、女性のファッションを対象とした研究³⁾を一つ紹介します。大学生男女(計22名)を対象に、20-40歳代の女性向けファッション雑誌から選出した着写写真(顔はイメージ形成に大きく影響する

ため省き、首から靴を履いた状態の足先までの写真を使用)計18枚を6枚一組にして10秒間呈示して、いくつかのイメージ(かわいい、キレイなど)を問いかけて当てはまる写真を見てもらいました。その時の視線動向を記録し、人は目の前にいる人をどのように見て印象を形成しているのか分析しました。その結果、男女ともにどの写真を見せても、どのようなイメージを問いかけても、視線は上半身に集中・停留(図1)しやすいことがわかりました。では、印象評価・印象形成時に下半身や足元に視線を送ることはないのでしょうか。

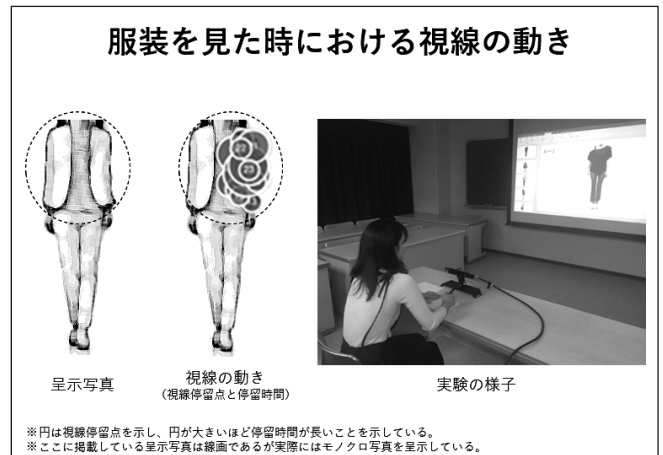


図1 印象形成時における視線動向

同研究において、上下の組み合わせを確認するためかウエストの少し下あたりまで視線を動かす様子は確認できましたが、足元までしっかり見る人はほとんどいませんでした。つまり、数秒のうちに印象を形成する(イメージを評価する場合)は足元までしっかり視線を送り、評価する人は少ないと考えることができます。この結果から、ハイヒールの高さやパンプスの形状が多少変化しても形成される印象はさほど変わらず、さらには女性性を表現・強調するためにハイヒールやパンプスを履いても気づかれることなく印象が形成されることもあるのではないのでしょうか。

大きな社会問題にまで発展した「#KuToo」は、国会においても話題に取り上げられ、企業の女性従業員の服装再考を促す動きに繋がりました。日本航空(JAL)はこれまで女性従業員の靴について、靴の種類や色、ヒールの高さに規定を設けていましたが、社員の安全や健康、多様なニーズを検討した上でその規定を撤廃しました。また、2020年4月から制服を刷新し、女性の客室乗務員にパンツスタイルを導入するなど、仕事着(ユニフォーム)に対する多様性についても配慮されるようになりました。⁴⁾

被服は古くから階級や職業、文化、宗教など様々な情報を伝えるツールとして用いられており、現代においてもその役割を大きく果たしています。ここで取り上げた「#KuToo」

は「装う人」とそれを「見る人」との相互間におけるコミュニケーションが取れていないために生まれた社会問題ともいえるでしょう。「靴」という小さなアイテムが社会問題にまで発展し、世論を動かし、服装に関する文化・慣習に変化を与えたことからわかるように、「装い」は着装者本人だけでなく、周囲の人々の意識を変え、社会全体の意識や文化にまで影響する力を持っているのです。我が国はいまだに多様性に対する理解が進んでいないとは言えない状況です。今後ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の受容と活用）がより一層推進することで、「装い」によるコミュニケーションの不通や社会問題にまで発展する問題はなくなるのではないのでしょうか。しかし、ここまで大きな問題に発展した「#KuToo」をきっかけに、「靴」を含めた「装い」に着目する人は増えると思われます。足のサイズを3次元（3D）計測し、そのデータをもとに個人に合った靴選びができる仕組みも作られる⁵⁾など、「#KuToo」による社会の変化は様々なところで見ることができるようになりました。今後は指示・強要ではなく、進んで装いたくなる被服の開発、健康被害や精神的な苦痛を強いられることなく装うことができる被服の開発、さらにはこれまで疑問視されてきた服装に関する職務・

業務上のルールや慣習の見直しが必要と言えるでしょう。

靴を含めた「装い」が、心豊かな生活を送るためのアイテムとして、また、コミュニケーションを円滑にするためのツールとして活用できるよう、今後も様々な視点から研究を深めたいと思っています。

【参考文献】

- 1) 小林茂雄、藤田雅夫、内田直子、孫珠熙、内藤章江；装いの心理と行動 被服心理学へのいざない、アイ・ケイ・コーポレーション、2018
- 2) 文部科学省科学研究費補助金、若手研究(B) 研究成果報告書(2013-2015)、内藤章江、2015
- 3) 内藤章江、橋本令子；アパレルデザインの心理効果と評価時における視線動向の特徴 - 女子大学生と男子大学生による評価の相違 -, 日本繊維製品消費科学会 2018 年年次大会要旨集, p134 (2018)
- 4) JAL、CA パンプス履かなくてOK「#KuToo」広がり影響か、朝日新聞朝刊(経済面)、2020-03-24
- 5) データで似合うパンプスお薦め 高島屋大阪店、3D計測で、日本経済新聞 地方経済面 関西経済、2019-08-21

INFORMATION

德音塾オンライン特別講座のご案内

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/courseinfo/#>



新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度春学期本講座（対面型授業）が実施できなくなったため、Zoomを使用したオンライン講座を開講することになりました。

《女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座》全4回

【定員】各回30名 ※1回からご受講いただけます。 ※各回とも講義のほか交流会（最長60分）を予定しています。

【受講料】1回5,000円 ※今回のオンライン特別講座に限り、入塾料は不要です。

開講日時	講師	テーマ	申込締切
7/25 (土) 13:30 ~ 15:00	笠松 千夏	「一周回って理想のキャリアを築く方法」	7/13 (月)
8/ 1 (土) 13:30 ~ 15:00	角田 仁美	「ダイバーシティ社会におけるワーキングマザーの働き方実践」	7/27 (月)
8/15 (土) 13:30 ~ 15:00	横田 響子	「キャリアの選択肢を広げる、付加価値を生む女性たちの仕事」	8/ 3 (月)
8/29 (土) 13:30 ~ 15:00	近藤 美樹	「これからの、女性のリーダーシップ～グローバルとローカルの視点から～」	8/24 (月)

【お申込】 以下のURLからお申し込み下さい。WEBからのみの受付となります。

<https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/kiin>

【お問合せ】お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：德音塾 事務局 E-MAIL : kiin-le@cc.ocha.ac.jp



（お申込）

第22回
国際日本学シンポジウム
延期のご案内

2020年2月発行「ellipse」第51号でご案内いたしました、2020年7月19日（日）開催予定の第22回国際日本学シンポジウム「高度経済成長期における食生活の変化」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期することといたしました。

【問合せ】グローバルリーダーシップ研究所 比較日本学教育研究部門

URL : <http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/> E-mail : ccjs@cc.ocha.ac.jp Tel&Fax 03-5978-5504



夢のつばさ♥プロジェクト



「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。



震災10年目を迎えた2020年度について

夢のつばさプロジェクトでは、新型コロナ肺炎の感染拡大が危ぶまれた2019年度末3月、春の交流会を中止して、夏のキャンプに向けて準備を開始しました。ところが新年度4月に入っても感染拡大がやまず、残念ながら本年夏の行事も中止することを決めました。たとえいったん収束に向かっても冬にはまた振り返すという予想もあり、なかなか計画の立てられない状況となっております。今回は、昨年度を振り返りつつ現状の報告を申し上げます。

東日本大震災後9年目、2019年度は、中止を余儀なくされた春の交流会の他は、順調に活動が行われました。

夏、冬のキャンプは青梅市にて3泊4日で行われ、子どもは20～35名、学生・社会人ボランティア60名以上（途中入れ替わりを含む）が参加しています。宿泊施設は、(株)ブリヂストン保養所 奥多摩園を利用させていただいています。学生と子どもが全員思い切り遊べたり、音楽会も行うことのできる広い研修室や、ベビーゴルフ場も付設された広い庭園、学生が子どもたちに付き添って就寝できる和室や、ホテル仕様の洋室も多数あり、いつもスタッフの皆さんが気持ち良く迎えてくださいます。多摩川の岸辺の眺望の良い素晴らしい食堂もあって、料理長さんが工夫してくださるご飯も子どもたちに大人気です。実は2020年夏のオリンピック開催が予定されていた頃に、夢のつばさは東京の混雑を離れて東北での夏キャンプ開催を目指し、候補地選びを行いました。かなり難航しましたが、奥多摩園という落ち着いた活動できる拠点を得られたことが、ここまで夢のつばさの活動を続けてこられた一因でもあると考えています。

春と秋の日帰りの交流会はこれまで仙台市内の公民館、体育館などを予約して行ってきています。2019年秋の交流会は、台風19号襲来直後ではありましたが、福沢市民センターに16名の子どもが集まって楽しい1日を過ごしました。

学生たちは、参加する子どもが成長してきた状況を踏まえ、子どもたちが夢のつばさにどんな活動を望むのか、改めて認

識しようと、キャンプ中に中高生との話し合いを行ったり、要望を聞いたりする機会を多く企画しました。そこで、子どもたちは、学生たちが思う以上に、夢のつばさのキャンプで将来に向けて考える時間を作ったり、社会見学をしたり、講演を聞いたりして学びたいと思っていることを確認しました。こうした思いを10年目、2020年度からの企画に活かそうと張り切っていましたが、このコロナ肺炎の影響で、集団での行動が制限され、今に至っています。

子どもたちと顔を合わせる機会のないまま、3月末、4月、5月連休と休校になって、子どもたちがどんな生活を送っているのか気がかりです。学生たちは、子どもたちと交流する良い手立てはないか探っています。誕生日祝いのカードや手紙や新聞発行のほか、インターネットを通じて顔を合わせ、声をかけることも考えています。難局を新しい局面へと変化させ、新しいツールを使った日常的な交流へと変化する機会にできるよう、じっくりと取り組みたいと思います。

コロナ肺炎の影響で、他団体でも交流行事やスポーツ活動等が中断し、先行きの不透明な状況となっているようです。夢のつばさの活動は大学生たちの参加が大きな原動力となっていますが、新入生との打合せもWebで行われ、意識の継承も課題かと思えます。また、2021年に延期された東京オリンピックですが、開催予測も揺らぎ、その際に夢のつばさプロジェクトがどのように活動するかも難しいところです。2019年度は、新しく参加した小学生のお子さんが5名もありました。乳幼児の時に親御さんが亡くなり、10年たって、ようやく参加の年齢になってきたお子さんがたです。キャンプの終わりに「また来るね」と名残惜しそうに帰っていった、こうしたお子さんたちのためにも、またいつも楽しみにして参加を続けてくれているお子さんのためにも、夢のつばさの活動がつつがなく続いていくよう、努めたいと思います。今後もよろしく願いいたします。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 E-mail:tsubasa@npo-ochanomizu.org

◆ 事業報告 共催講演会

お茶の水地理学会講演会

「最近の自然災害の動向と地理学における災害への取り組み」

講師 熊木 洋太 氏（専修大学文学部環境地理学科 教授）

【開催日時】 2019年12月7日（土）
14:00～16:00

【会場】 お茶の水女子大学 共通講義棟2号館101

【共催】 NPO法人 お茶の水学術事業会

【参加費】 無料

【参加人数】 81名

お茶の水地理学会は、公益事業として10年以上にわたり、年に1回（12月）、様々な分野で活躍する方を講師に迎えて公開講演会を開催し、好評を博しています。2019年度は、昨今多発している自然災害をテーマに、防災地理学をご専門とされる熊木洋太氏に地理学的視点からお話をいただきました。

● 講演要旨

日本は自然災害発生のリスクが非常に高い国であり、大都市圏に限れば、東京圏は世界一被害リスクが大きいとされている。近年、大きな風水害や大地震が多発しているが、気候変動や地震活動の長期的動向からみて、当分の間このような時代が続くと考えられる。

2012年7月九州北部豪雨、2015年関東・東北豪雨、2018年西日本豪雨、2019年台風19号の水害の事例では、大河川の狭窄部の手前や大きな支川の合流箇所の手前など河川の水位が上昇しやすい場所での氾濫、破堤地形のある場所での河川堤防の決壊、旧河道を締め切った部分での堤防決壊、河川蛇行部の攻撃斜面の侵食、無堤地区の溢水、旧河道などの排水不良による内水氾濫などが見られた。2014年広島土砂災害では、土石流堆積地形の場所を新たな土石流が襲った。2016年熊本地震では、地形から把握されていた活断層が活動し、地表にずれが生じた。また、砂質堆積物をもたらした

旧河道沿いに液状化が発生した。

このような災害危険箇所は、近年整備が進められている各種のハザードマップに示されており、おおむね当たっている。主として市町村が作成しているハザードマップは、各戸配布などで住民への周知を図っていることも多い。しかし、国土交通省の調査によれば、実際に災害が発生する状況で、ハザードマップを見た人はごく少数である。

ハザードマップは有用ではあるが、利用には注意すべき点も多い。地震・津波関係では特定のタイプの地震を想定して作成されていることが多く、想定とは違う地震についてはわからない。250メートル四方などのメッシュ単位の図では、家屋ごとの危険度はわからない。液状化マップの中には、必ずしも十分な密度でないボーリングデータに依存したり、埋め立てなどの土地の履歴を十分に考慮せずに作成されたりしたものがある。ハザードマップの多くは市町村単位で作成されているが、災害現象は市町村の境界を越えて広がる。水害のハザードマップで浸水予想範囲が示されていない場合、浸水しないと判定された場所なのか、単に未調査なのかの区別がわかりにくい。

このようなことから、ハザードマップを活用しつつ、災害現象に関わる土地の性質について一定の知識を持ち、自らも判断できることが望ましい。その際、上記の事例からもわかるように災害発生と密接な関係があり、新旧の地形図によってもれなく把握できる地形条件を利用することが効果的で、地理学の知識が生きることになる。具体的には、国土地理院のウェブサイト中の「地理院地図」の利用がお勧めである。地形を陰影図として表現したり断面図を描いたりすることができ、土地条件図、治水地形分類図、活断層図、国土地理院の災害調査結果などを重ねて表示することもできる。明治以降のさまざまな時期の地形図を閲覧できる埼玉大学公開の「今昔マップ on the web」も有用である。



お茶の水地理学会／事務局 東野真紀
（講演要旨は熊木洋太氏による）

◆ 事業報告 助成金事業

全国歴史教育研究協議会 60 周年記念誌作成と 記念講演に助成金を賜って



◆ 第 60 回研究大会（東京大会）

2019 年 7 月 24 日（水）総会・分科会
25 日（木）シンポジウム・記念講演
26 日（金）史跡見学



全国歴史教育研究協議会は、全国の高等学校の教員を中心に、歴史教育の在り方などを研究している組織である。活動の 2 本柱として、毎年、都道府県を変えて行われる研究大会と、年度末に発行される研究紀要がある。紀要には、研究大会の記録、地方の歴史教育研究会の年間の活動報告などが掲載され、全国の歴史教育の在り方などを知る参考資料ともなる。

令和元年度の研究大会は、60 周年の記念大会に当たり、東京都の中野サンプラザを会場に実施した。大会に合わせて、研究会の 60 年の活動を記した記念誌『全歴研六十年のあゆみ』を作成し、大会では、放送大学教授の原武史先生に記念講演をお願いした。今回、お茶の水学術事業会からご支援頂いた助成金は、60 周年記念誌作成と記念講演に使用させて頂き、大変充実した活動を行うことができた。

研究大会の全体テーマを、「新しい歴史教育の創造を目指して～転換期の歴史教育の在り方～」とし、高等学校で令和 4 年度から導入される新しい学習指導要領の研究を中心に行った。5 つの分科会を設け、第 1 分科会では「新しい歴史教育への展望」をテーマに新学習指導要領を全般的にとらえて考察するシンポジウムを開催し、第 2 分科会では新科目「歴史総合」についての授業実践報告、第 3・第 4 分科会では新科目「日本史探求」と「世界史探求」についての授業実践報告が行われた。また、第 5 分科会では、博学連携をテーマに、これからの新しい歴史教育の在り方の 1 つとして博物館との連携が提案された。

記念講演では、「平成から令和へ～いま天皇制を考える」として、象徴天皇制のありかたについての考察が行われた。講演の主旨を簡単にまとめると、“日本国憲法に、「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴・・・」とあるが、象徴とは何なのか、がはっきり定義されていない。明仁天皇は、それを「国民の安寧を祈ること」「人々の思いに寄り添うこと」と自身の中で定義し、その実践のために全国各地を繰り返し回った」ということを考察した内容であった。分科会では、

上記のように、新学習指導要領で定められた新科目の授業実践報告が主に行われたが、新学習指導要領のポイントは、大きくまとめると、①必修科目として「歴史総合」を置き、その中で近代～現代の世界史・日本史を融合して学ぶ。また、その発展として「世界史探求」「日本史探求」を選択して学びを深める。②学習の中で、主体的・対話的な形での学びを進める。③従来の知識、技能の習得と合わせ、未知の状況などに対応できる思考力や判断力を養う、の 3 点である。新学習指導要領の求めるものを、どのような授業を通して実現することができるのか、13 本の実践報告と、参加者との質疑応答の中で、共通理解が探られていった。実践報告の 1 例としては、「横浜商業学校表忠碑」という身近なものを教材化し、石碑の裏に刻まれた戦没卒業生の名前の読み取りから、日露戦争を考察した。

また、60 周年記念誌『全歴研六十年のあゆみ』にまとめた研究会の記録を読むと、60 年の中で変遷したその時代の学習指導要領の求める生徒観を読み解くことで、その時代の社会の状況や課題、国際情勢などが反映されており、大変興味深かった。

今回、お茶の水学術事業会から助成金を賜り、大変充実した講演会と記念誌作成が可能となりました。心より御礼申し上げます。

全国歴史教育研究協議会事務局
東京都立墨田川高等学校教諭 小粥 久美子

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

お茶の水学術事業会では、「教育・研究活動に関する事業」として、

1. 講演等の共催事業
2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業（助成金の支給）を行っています。

次回の申請は 2020 年 10 月より受け付けます。

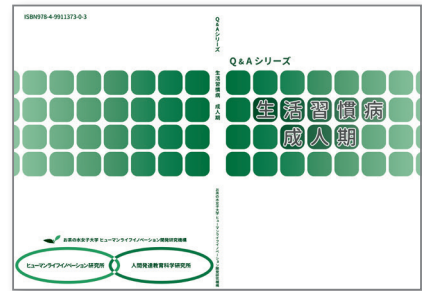
詳細は HP (<https://www.npo-ochanomizu.org>) をご覧ください。

本の紹介

『Q & A シリーズ 生活習慣病 成人期』

(2020年3月3日発行)

- ◆ 編集・発行 : お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション開発研究機構 (ヒューマンライフイノベーション研究所)
- ◆ 発行協力 : NPO 法人 お茶の水学術事業会



お茶の水女子大学発の成人期の生活習慣病予防のテキストができました。ヒューマンライフイノベーション研究所の生命科学と生活科学を専門とする先生方が、生活習慣病とその予防に関する現在の知見を Q&A 形式で分かりやすく解説しています。

「2030年問題」という言葉もある通り、日本では、今後少子高齢化が進み社会に変化が起これると予測されています。そのような背景を踏まえて、お茶の水女子大学は、人が生涯を通じて健康で心豊かな生活を送るための研究・開発と安全・安心な社会環境構築のためのイノベーション創出の拠点として、2016年4月にヒューマンライフイノベーシ

ン開発研究機構を設置しました。傘下にはヒューマンライフイノベーション研究所と人間発達教育科学研究所があり、「こころとからだのイノベーション」をモットーに、健やかで活力と意欲ある子どもたちの育成、一生を通じた QOL の向上と健康寿命の実現、QOL を維持した健康寿命の実現を目指した活動をしています。特に、生活習慣病、炎症性疾患、発達障害をコアテーマとし、ライフステージ (子ども期・成人期・高齢期) に即した研究・開発を推進しています。

本冊子は、こうした活動の成果や実績を発信するコンテンツの一つとして作成されました。

【取り上げられている30のテーマ】



生活習慣病ってどのような病気ですか? / がんってどのような病気ですか? / メタボとは何ですか? / 体重と体脂肪、BMI の関係について教えてください。 / 糖尿病ってどのような病気ですか? / 糖尿病と言われました。どうすればいいですか? / 高血圧って何ですか? / 脂質異常症・動脈硬化症・虚血性心疾患とはどんな病気? / 生活習慣病になりやすい体質はあるのですか? / 痩せすぎは身体によくないのですか? / 酒・たばこと生活習慣病との関係は? / 生活習慣病に効果的な運動ってありますか? / 睡眠は生活習慣病に関係しますか? / 生活習慣病と食事の関係を教えてください / カロリーってなに? 1日の摂取カロリーはどのように決めればいいですか? / バランスの良い食事とは? / 低糖質ダイエットは健康な食事ですか? / 生活習慣の改善ができません。どのように取り組んだらよいですか? / 健康日本 21 とはなんですか? / 健康診断は生活習慣病の発見に役立つのですか? / 食育って法律で定められているのですか? / ビタミンなどのサプリメントは生活習慣病に効くのですか? / トクホって何? トクホは生活習慣病に効くの? / 健康によい油をとるには? / コレステロールの取り過ぎはいけないのですか? / 朝食を抜くとなぜいけないのですか? / がんを予防するにはどんな食事をすればよいのですか? / 骨粗しょう症は高齢者が多いと聞きました。どうすれば予防できますか? / 痛風や高尿酸血症は男性の病気ですか? / どうしたらおいしく減塩できますか。

ご希望があればお送りしますので、メールまたは FAX で、下記の項目を明記の上お申し込みください。

① 氏名 ② (送付先) 住所 ③ 所属 ④ 使用目的

お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所 メール: office-ihli@cc.ocha.ac.jp FAX: 03-5978-2571

編集後記

肉眼では見えない小さなウイルスは私たちの生活を一変させました。この間に生まれた流行語とともに「良い経験をした」と振り返る日がくることを祈っています。巣ごもり生活のお供に「Q & A シリーズ 生活習慣病」やお茶の水ブックレットシリーズはいかがでしょう。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2020 年 10 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
https://www.npo-ochanomizu.org

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地

東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分
地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分
都バス
大塚2丁目バス停すぐ

